音声通話にも対応
データ通信 格安SIM
エキサイト

エキサイトは音声通話に対応した高速データ通信の格安SIMサービスを7月1日に始める。

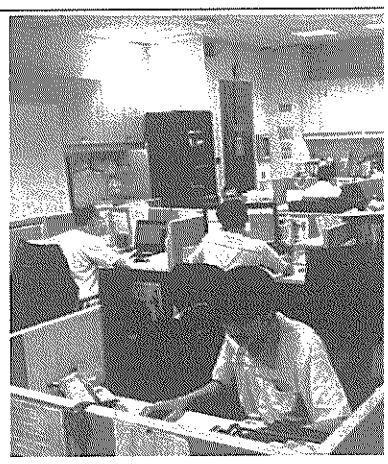
データ通信量に応じて毎月の料金が変わる最適料金プランと、定額プランの二つで展開する。家族向けに複数端末でデータ通信容量を分け合えるSIMカード複数枚プランも用意する。

サービス名は「エキサイトモバイル」。NTTドコモのスマートフォンやSIMフリーのスマホで利用できる。

最適料金プランは月2380円（消費税抜き）を上限にしており、毎月のデータ通信量で料金が決まる。10ギガバイト（ギガは10億）まで利用できる。

SIMカード3枚コースは上限額が3980円（同）になる。15ギガバイトまで複数端末でデータ通信容量を分け合える。これに1枚当たり月390円（同）でSIMカードを追加でき、最大5枚まで利用できる。

データ通信料に月700円（同）を追加すると音声通話が利用できる。通話料は別途必要になる。定額プランは1ギガバイト20ギガバイトまで5段階のプランを販売する。



ユニアデックスのインドネシ
若手が研修に励むことになる

回の研修内容を立案した。まだ検討に入ったばかりだが、今後、海外事業を強化していく上でグローバル人材の育成は不可欠と判断し、実現に向けて調整していく。

同社は日本ユニシスの子会社で、中国とイ

持つ。海外拠点の保有数では日本ユニシスグループで最も多いという。このためグループ全体の海外事業を支える存在として期待されている。

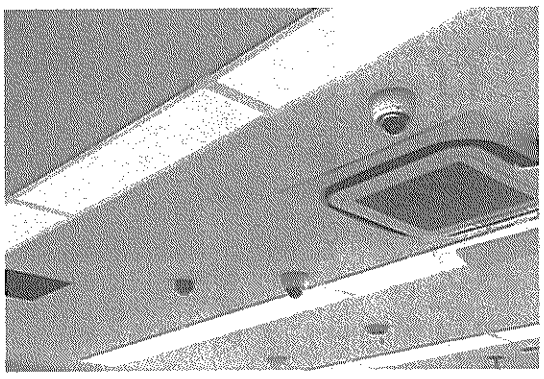
主に日本企業の海外拠点に対して、IT環境を支援する業務を展

高目標として1300億円を掲げる。目標達成の手段の一つとして、海外事業を強化していく。

面で発光 明るさ均一
サンエーが超薄型LED照明

サンエー（東京都港区、庵崎栄社長、03・6402・4136）は、厚さが14・7ミリメートルの超薄型完全フラットパネルLED（発光ダイオード）照明「s-S1imシリーズ=写真」を発売した。縦横の標準サイズは310ミリ×1260ミリで、価格は5万1800円（消費税抜き）。

製品の側面にLEDを敷き詰めて反射板と挟むことで、眩しさを緩和させた。学校の図書館や工場のクリーンルーム、食品工場を中心に販売し、年間2億円の販売を目指す。



従来の蛍光灯やLED照明は手元に影を作りやすかった。今回の製品は面で発光するタイプのため、光源面積が広がり、均一な明るさを実現し影を作りにくくした。

また従来品は表面がガラス管であるのに対し、今回はポリカーボネート素材を採用したため、地震などで落下しても割れる心配がない。消費電力は29・5ワットで、蛍光灯に比べて63%、直管型LEDに比べて23%の節電になるという。学校や工場のほか葬儀場など窓を設置できない施設への導入も見込む。

SBTが農業支援
就農者増加 ICTで貢献
経営強化や生産性向上
耕作放棄地解消も

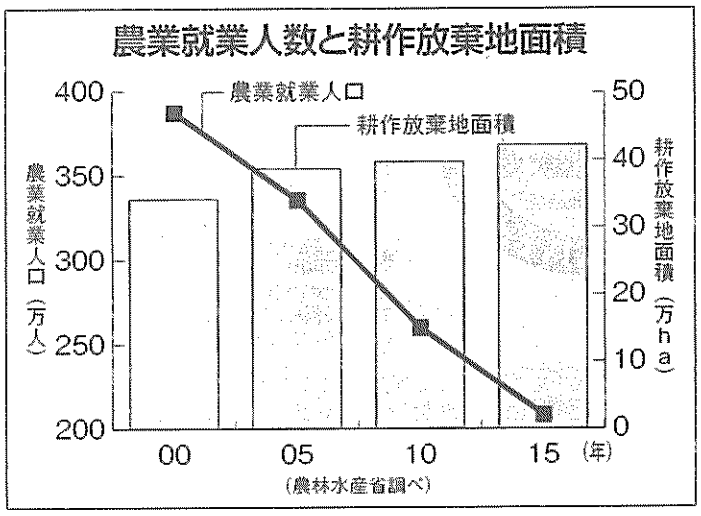
ソフトバンク・テクノロジー（SBT）は農業への新規参入や農業経営を支援するサービスに乗り出す。情報通信技術（ICT）により生産性を高めるだけでなく、参入する際に必要な農地の確保や行政手続きも支援する。農業は高齢化の進展に伴い、担い手不足が深刻化している。農家の立ち上げを含めて支援し、経営の強化や農地の拡大など幅広い需要に応えることで新規就農者の増加や耕作放棄地の解消などにつなげる。（葭本隆太）

◇ ◇

就業人口が半減

農林水産省によると2015年時点の農業就業人口は209万人となり、00年比で半減した。就農人口の減少により1農家当たりの耕地面積が増加し、農家の負担は増大している。過去1年以上作物が栽培されていない「耕作放棄地」も15年に42万ヘクタールまで拡大し、全農地面積の約1割を占める。農業を持続させる上で農作業の効率化や担い手の確保・育成は急務になっている。

こうした中、SBTは農業ベンチャーなどとの協業により、新規参入から農作業の効率化、農業規模の拡大まで支援に取り組む。同社営業統括第3営業本部公共営業部の上原都磨部長は「農業が事業として成り立つよう、立ち上げや経営を支援し、参入する人が増える循環を作りたい」と意気込む。



共同で新会社

具体的には耕作放棄地の再生事業を展開するマイファーム（京都市下京区）との共同出資により、新会社「SBTMF（仮）」を8月にも設立する。農地情報のポータルサイトを開設し、農地の面積や場所、状態などの情報を開示する。参入や農地の拡大を希望する借り手と、耕作放棄地を所有する貸し手を結びつける。

一方、新規参入時については経営計画を策定し、地域の農業委員会に承認される必要がある。新会社はこうした行政手続きも支援し、農業に参入しやすくする。

また、農業経営のコンサルティングを手がけるテラスマイル（宮崎市）と協業。農家の経営状況を可視化するサービスについて9月をめどに始める。テラスマイルが持つ知見を活用し、出荷量に応じた想定売り上げや、設備・農機の投資効果などの情報を簡易に得られるようにする。

ドローンで観察

飛行ロボット（ドローン）やICTを活用して作物の生育状況などを可視化する事業も展開する予定。北海道旭川市で実証実験を進めており、生産性を高めるサービスとして構築する。これらにより農業経営の強化を後押しする。

ICTなどの活用による農作物の省力・高品質生産は「スマート農業」として注目されている。一方で農業を持続して成長させるには担い手の確保も欠かせない。立ち上げから支援するSBTの事業が農業にもたらす効果が注目される。

スウェーデン製ERP
MES機能追加
NEC、製造現場向け

NECは提携先であるスウェーデンのIFSの統合業務パッケージ（ERP）に製造実行管理システム（MES）の機能を追加したソリューションを発売した。価格は3000万円（消費税抜き）から。

製品名は「IFSアプリケーションズ・フォー・MES」。MESに求められる品質管理などの11の基本機能を備え、生産活動に関わる設備や作業手順などの主要な情報を一元的に管理できる。

ライン長や工場長、経営層といった階層ごとに必要な情報を見える化し分析できる。

見込み生産や受注生産、後補充生産などの多様な生産形態に対応している。このためプッシュ型生産からプル型生産への変更や、現場の効率化に伴う業務改善を迅速化できる。また、ソリューションを採用する際には、必要な機能の選択や段階的な導入が可能。

さらにNECの製造ノウハウを集約した「インダストリアルIoT（モノのインターネット）」を組み合わせることで、センサーやロボットなどから製造現場の実績情報をリアルタイムに可視化し、解決策の早期立案を支援できる。

デジタル

増山さん

変わりません

▽…「『新体制になって変わるんですか？』と聞かれそうですが…」と前置きするのは、東芝ホームテクノ（新潟県加茂市）社長の増山泰正さん。同社は6月末に中国の美的集団に売却される。

▽…質問の答えは「変わりません」ときっぱり。ブランドやロゴを使い続けることが理由の一つだが、表示名だけの話ではない。

▽…「お客さまの目線に立って良い商品を出し続ける。そんな東芝ブランドに誇りを持って今後も進めていく」。東芝家電の長い歴史と実績を胸に秘め、今後も良い商品作りを継続する。

こんな所にO&M
シリコーンラバーヒーター
量産ラインの管理に最適
デジサーモ OT-9
ヒーター カップ シート
曲面にもしっかりフィット
0120-800-255

有力各社の製品&技術

オーエムヒーター

オーエムヒーターは各種ヒーターを手がける専門メーカー。同の「O&Mシリコーンラバーヒーター」は独自の接着加工技術で品ものから量産品まで幅広く応。フィルム製造装置や紙搬送などで行われる、熱を利用した種工程での利用を提案する。温調節器「デジサーモOT-9」はPID制御でヒーターの温度管を行うコントローラー。単体はちろん、パソコンで最大30個のントローラーでの操作が可能。数のヒーターを使用する製造装などの温度管理に貢献する。

る」をコ
技術と
紙・金属のコーティングやハン
リング、スリッティング、ワイ
ディングの設備を納入している。

塗る技術には、長年の実績・
発を重ね、多様なコーティング
法をそろえ、薄膜から厚膜、紙
らフィルム、光学用から工業用
など、あらゆるコーティング要
に対応。常設テストコーター
は、日々新しいコーティングの
社開発と顧客要求のコーティン
テストを実施し、顧客の新設備
資に応えている。